

校長室だより

No. 43

平成30年3月9日(金)

強く やさしく

六ツ美中部小学校校長

かとうよしかず
加藤嘉一

学校の引き継ぎ風景から - 6年生から5年生へ 大きな学びの場 -

今週の月曜日、わたしたちの朝の打ち合わせが終わったころ、校長室そばにある掲揚塔のところで、何やら一生懸命説明をしている子供の声が聞こえてきました。窓からのぞいてみると、6年生の代表の子たちが、引き継ぎの一つとして、国旗や市旗、校旗などの掲げる方法や、しまい方などを5年生に教えてくれていたのです。紐の結び方に注意しなければいけないことや、失敗しがちなことなど、仕事の内容だけでなく経験から得た職人のような視点で語っています。これは、仕事をきちんとやってきた証です。



学校の中で、6年生はたいへん大きな役割を担っています。この旗の掲揚のみならず、学校生活を円滑にするために、子供でできる仕事は子供が行っており、多くを6年生が担っています。この仕事内容を伝えるだけなら、「6年生の仕事」と紙に書いて5年生に配れば終わります。それでは5年生の自覚は薄いものになるでしょう。そうではなく、経験してきた子たちに、現場で実物を前にしながら語らせることに大きな意味があります。5年生に、高学年として仕事をするとはどういうことか、その責任がしっかり自覚されたと思います。

また、子供がこの説明をするときに6年生の先生が一言「説明は短くしよう。長いとわかりにくくなる」とアドバイスしていました。これがまたよかった。

各教科等で培われた力を十分発揮させて、総合的に子供を育てることが新学習指導要領の特徴です。子供は、国語で様々なプレゼンテーション・発表の学びの場があり、相手にわかりやすく伝える学びをしています。その学びを実践で生かすよう、説明の仕方を考えさせたのです。これからの時代は、机の上で行われる学びだけを求めています。「できることをどう使うか」が学力の柱の一つです。

今回でいうと「学校を引き継ぐ」といった逃れられない命題が、5年生の子たちにとって、最高学年としての「責任」と自覚されます。受け渡す6年生にとっても「責任」をつなぐ「責任」があり、重要な場面になります。

通常、学びの意欲は、興味・関心・好奇心などから生まれると考えがちなのですが、役割と同時にふつつつとわく責任からも生まれます。わたしは、高学年部の先生方の場面設定に感謝しました。

参考【新小学校学習指導要領 特別活動】

■第6章の第3の1の(2)より <一部抜粋>

「(2) 一略一 その際、学校の創意工夫を生かし、学級や学校、地域の実態、児童の発達の段階などを考慮するとともに、第2に示す内容相互及び各教科、道徳科、総合的な学習の時間などの指導との関連を図り、児童による自主的、実践的な活動が助長されるようにすること。 一略一 」

■第6章の第2の〔学級活動〕の2「内容」より

(3) 一人一人のキャリア形成と自己実現

イ 社会参画意識の醸成や働くことの意義の理解

清掃などの当番活動や係活動等の自己の役割を自覚して協働することの意義を理解し、社会の一員として役割を果たすために必要なことについて主体的に考えて行動すること。

本年度の重点目標に対する自己評価 1 ー学校評議員会を終えてー

2月23日(金)学校評議員会において、学校診断アンケートの結果と以下の本年度「重点目標自己評価」をお示しし、成果と課題を説明させていただきました。「本物体験のよさ」「開かれた学校づくり」などを評価いただくとともに、「問題を見つけ解決する力をつける価値」「小学校が地域の拠点であること」「IT機器の使い方」「読書の価値」など、様々な視点で御高評いただきました。御意見を真摯に受け止め次年度を構想します。順次自己評価を掲載します。(学校診断アンケート結果と学校評議員の高評は月曜に実家庭に配付)

【マーク】自己評価

- ◎十分に取り組み成果が現れた
- 概ね取り組み成果が現れつつある
- △取り組みまたは成果が十分といえない

【重点目標自己評価 1】 ア ベんきょうがだいすきな子を育てる

- ◎えんぴつの持ち方検定(校長室) ◎算数「九九」等の検定(校長室)
- △問題解決的な学習についての授業構想の研究(研究部) ○次期学習指導要領にかかわる授業研究(現職研修)
- 仲間の発言に対する自分の考えを語る場面の研究(授業)
- 習得・活用の授業研究(現職研修) ○全国学力・学習状況調査の結果分析(現職研修)
- 朝のドリルタイム(金曜日朝学習) ○聞き方の指導
- 英語活動重要センテンスまとめ(新カリキュラム作り) →新 EnglishStreet
- ◎朝の英語タイム、お昼の放送の工夫(DVDに加え、新たな実践)
- ◎スーパーサイエンススクール推進事業の応募・実践(授業・行事) ◎自由研究相談会の実施(夏休み)
- 校内研究紀要・市教育研究大会レポート・県市教育論文等での検証・まとめ
- 廊下等を利用した学習と生活をつなぐ掲示、活用力を試す教材設置(環境整備)
- ◎推薦図書紹介・図書イベント活動の工夫(委員会等) →読書カード「よむちよ」等
- △朝の会・集会等でのスピーチ活動 ○教職員・ボランティア・児童による読み聞かせ充実